

【知事定例記者会見】1月21日

- 世界に羽ばたくスタートアップ企業を生み出し、育てていきます

スタートアップ企業とは

今までにないアイデアをもとに飛躍的に成長する企業。志のある起業家を佐賀から育てたい。意欲があっても、新しいビジネスを立ち上げ、会社をつくることは難しい。資金調達の問題も大きな課題。学生、県内外を問わず、意欲と志のある人を佐賀県流に応援したい。

スタートアップ企業“佐賀型”個別支援

個別支援は3種類。それぞれ数か月に渡って個別に指導する。「始」「磨」「繋」のすべてが伴走支援。

- ・「始」(ゲートウェイ) アイデアをビジネスプランにするまでを監査法人トーマツが支援。
- ・「磨」(ブースト) 現役の投資家が磨く。ベンチャーキャピタルが支援。
- ・「繋」(コネクト) 商談先、パートナーを紹介、斡旋を専門機関が支援。

ポイントは、具体的にそれぞれ伴走する機関が明示されていること。安易に金融機関に頼らず、原石の育成に関わることが佐賀県の特徴。専門家が、各課題を徹底的に支援する。

スタートアップ企業“佐賀型”資金調達支援

- ① アイデア期:ふるさと納税を活用した助成に、さらに上乗せして、起業家を支援する。
- ② 事業化期:事業実現への助成。年間3社、500万円を上限に支援する。競い合って、チャレンジしてもらおう。
- ③ 事業拡大期:民間からの資金調達。クラウドファンディングなどを使い、幅広く資金調達をする。仲介企業の手数料は県が負担。

民間資金を巻き込んだ資金調達支援が特徴。市場で勝負できる企業に磨き上げ、成功事例を増やしたい。

佐賀県のスタートアップ企業が様々な賞を受賞

女性社長のためのJ300アワード2021大賞の(株)Retocos 三田さん、毎日みらい創造ラボ第7期 DEMO DAY 特別賞のフレル(株)江口さん、九州・山口ベンチャーマーケット2021優秀賞の(株)Dessun 高橋さん。3人の取り組みは、県内で起業したことが成果に結びつき、スタートアップ育成の芽が出始めた。

佐賀大学の学生もふるさと納税を活用したスタートアップに向けてチャレンジ中

株式会社 NEXS の梶原さん、学生団体 WIDE の北原さんは、大学生ながら起業。学生起業家の夢の第一歩を応援したい。ぜひ、佐賀から挑戦を。

● あの衝撃のデビューからはや 1 年 異次元みかん 「◎にじゅうまる」旋風再び

食べた瞬間、すべての細胞が覚醒する異次元みかん。品質確保のため、接ぎ木をせず、栽培場所を厳選。常に、品質向上を探求し、徹底した研修を受けた農家が作った特別なみかん。

今年の出荷は、3月上旬スタート予定。販売日は、2月10日「にじゅうまるの日」に発表する。今年の出荷量は48トン、去年の2.4倍。10年後は、500トンが目標。

去年は、東京・大阪へのお荷が多く、地元への配分が少なかった。今年、県内の流通量を7トンに増加。「にじゅうまる」のおいしさを体感し、みなさんが宣伝部隊になってほしい。

異次元のおいしさをご賞味ください。

● SAGA2024 全障スポに向け様々なパラスポーツに挑戦していきます！

今、熱く注目されるパラスポーツ

去年の東京パラリンピックでは、多くの選手の活躍で感動をもらった。大谷選手には、県民栄誉賞を授与した。

佐賀県パラスポーツの全体像

パラスポーツにSSPを適用する。大谷選手、金持選手は世界で活躍するトップアスリート。山本選手、森山選手は、世界を目指すライジングアスリートの位置にいる。SSP トップアスリートは、いずれ指導者としてスポーツの裾野拡大のため佐賀に戻る。そのようなピラミッドを作りたい。

佐賀県パラスポーツの拠点を整備しました（全館バリアフリー）

SAGA パラスポーツセンターを総合福祉センターの敷地内に設置した。更衣室、シャワーブース、手すり、多機能トイレなどを設置。

SAGA2024 育成選手として232名を認定

全障スポは、茨城以降3年連続開催されていない。SAGA2024は、台風やコロナに備え、2次的・3次的な対策を施し、開催できるよう準備している。

また、全種目にエントリーできるよう、選手を集めている。SAGA2024に向けて、その後も「さがすたいる」でスポーツに親しむことのできるSAGAを目指したい。

● 暮らしに身近な道路が開通します！

・嬉野下宿塩田線

この区間が開通することで、国道34号線の渋滞が緩和される。開通式は3月21日。

・伊万里有田線

有田から伊万里有田共立病院に向かうバイパスが整備された。開通式は3月26日。県は暮らしを支える道づくりを進めていく。

● 九州陶磁文化館 4月リニューアルオープン!

オランダのローレンティン妃が来日した際、有田焼とヨーロッパの関係をボードで説明した。有田焼の世界的な位置づけ、歴史をテーマごとに展示する展示室を造る。

リニューアルオープンは、4月9日。1月31日から4月8日までは、館内改修のため全面休館。リニューアル記念特別企画展「海を渡った古伊万里～ウイーン・ローズドルフ城の悲劇」を5月28日～7月18日に開催する。

佐賀が誇る焼き物文化の魅力価値を国内外に発信したい。

● 佐賀県 対コロナ離島支援プロジェクト

離島島民にワクチン3回目の接種を行う。消防防災ヘリコプター「かちどき」を活用し、医師、看護師の支援を受け、島からコロナが出ないように、全力で向き合っていく。

● 佐賀空港の自衛隊使用要請

有明海漁協から申し入れがあった第1回目の協議の場を1月28日に開催する。